

## デファレンシャル・オイル不良による 火災事故防止の徹底について

事業用自動車の車両火災事故の防止については、従来から機会あるごとに注意喚起をしているところですが、昨年末から2月8日までに、全国で複数の火災事故が発生しているところです。

このうち、岡山県津山市の火災（1月31日）、北海道勇払郡の火災（2月8日）は、いずれも貸切バスが走行中、後軸付近から出火したものであり、その状況から、差動装置（デファレンシャル）のオイルが不足又は著しく劣化したことにより潤滑不良となった状態で走行を続けたことから同装置の内部が過熱し、火災に至ったものと推定されています。

については、同種の事故の再発防止のため、下記事項について徹底を図り、輸送の安全に万全を期されるようよろしくお願いいたします。

### 記

1. デファレンシャル周辺のオイル漏れの有無を点検し、オイル漏れがある場合は所要の整備を実施すること。
2. デファレンシャルのオイルの量を点検し、不足している場合は補給すること。
3. デファレンシャル・オイルは、自動車製作者等が推奨する期間を参考として交換すること。